

# 自社の得意分野、映像制作で 地域イベントを記録する貢献

映像を通して札幌らしい地域の情報を発信し、まちの活性化を目指す会社が、札幌市豊平区の株式会社エンターリム。創業間もないこの会社が、自社の技術でできる地域・社会貢献として12月、チャリティイベントを映像で記録するという活動に取り組みました。



▲約250名のサンタが贈り物を届けました



## 映像制作の技術と 地域への想いを具現化

エンターリムは高い映像制作の技術が強い。同社の前身時代には、札幌市市民情報センターの地域情報交流支援や、地域FMラジオ、インターネットを活用した行政情報の配信など、多様な活動に参画。時には本業を超えて、熱心に地域を支援していました。平成26年からは『さっぽろウェブラジオ』で動画を配信するなど、一貫して札幌の魅力映像を配信することにこだわってきました。地域への想いが強い同様に、コンサルタントから企業の地域・社会貢献を札幌市が支援する事業を紹介したところ、「地域に根差す会社として、まちづくりに積極的に協力

したい」との回答を得ました。

映像制作を通じて地域貢献の意向を踏まえ、連携先に挙がったのが「札幌サンタラン」。これは全国に広がっている、入院中の子どもたちに贈り物を届けるクリスマスのイベント。札幌では2013（平成25）年に初めて開催されました。サンタラン事務局では、映像で記録してくれる人を求めています。

そこで双方のマッチングを想定し、エンターリムに催しの主旨を説明。撮影と映像編集による企業の地域・社会貢献を提案したところ「内容に共感できるのでぜひ協力したい」と快諾が得られました。

## 冬の札幌にサンタが 笑顔と贈り物を届けた

平成26年12月13日（土）午前に始まった「北海道グレートサンタラン in 札幌」。この日は雪が降り、クリスマスらしい天候となりました。エンターリムでは当日2名が撮影に参加。約250名が札幌市役所を出発し、北3条通りを経て大通公園に向かって歩

きました。

現場でカメラを回しながら感じた感動を、代表者はこう話します「当日は撮影しながら、とてもよいイベントに関わっていると実感しました。取り組みが多くの人に知られるような動画をつくることができ、協力側も得るものが大きかったです」。イベント後、エンターリムが編集を行い、約5分の映像に仕上げ、事務局に提供。YouTubeで12月22日（月）に公開されました。

## 映像をつくり感動を 共有する地域・社会貢献

映像の発信は、サンタラン事務局に大きなメリットがありました。「撮影協力には本当に感謝しています。映像は参加者の記念となり、募集時のプロモーション映像としても活用できます。エンターリムさんとい関係ができてよかったです」（事務局談）。エンターリムも「病気と闘う子どもに贈り物を届ける主旨に賛同して今回協力しました。得意分野のため作業も負担ではなく、貢献できてよかったです」

（代表者）と話して下さいました。

成功のポイントは、得意分野を無理なく活かした点と考えられます。企業が強みを洗い出せば、強みを活かした地域貢献の内容が整理されます。貢献する内容が絞られれば、企業の支援を求める対象も想定でき、地域貢献の機会がきつと見つかることでしょう。企業が地域にアンテナを張ることで、具体的な情報が入ることもあります。地域のニーズを探る際は、札幌市福祉協議会や、札幌市内に87箇所あり、地域に密着した様々な情報を持つまちづくりセンターなどに聞くのも、ひとつの方法です。

エンターリムでは、次年度以降も北海道グレートサンタラン in 札幌に、企業の地域・社会貢献として映像の撮影と編集面で協力することとしています。

## 成功の秘訣

自社の技術を活用した、無理のない協力

動画配信ページURL <https://vimeo.com/115053342>



▲参加者と一体となって撮影しました



▲エンターリムの協力をエンドロールで表示



▲映像に字幕と音楽を加えて編集